

学校経営方針

1 基本理念

自らを律し他と協調し、社会の変化に対応しながらよりよく生きていくことができる確かな学力と豊かな心や社会性を身につけていくための資質や能力を培う。

2 教育目標

将来への夢を持ち、国際性豊かで、知・徳・体の調和のとれた児童の育成

「よく考える子」

「心豊かな子」

「たくましい子」

3 めざす子ども像



4 学校像と教師像

(1) めざす学校像

- ① 安心・安全な教育環境となる学校
- ② 確かな学力を育成する授業を行う
- ③ 健康を増進する学校生活
- ④ 個々の才能が開花する行事を行う
- ⑤ 豊かな情操を育む校内環境であること
- ⑥ 友情を育む学級、学年であり、学級間交流、異年齢交流を積極的に行う
- ⑦ 発見のある観察、見学、実験を授業に取り入れて豊かな体験活動を行う
- ⑧ 元気にあいさつし、名前を呼んで話し合い、友の活躍を称える伝達表彰を行う

(2) このような教師でありたい(教師像)

- ① 広い心と視野を持ち、温かみがあり、優しい言葉かけで児童と接する教師
- ② 児童の個性・特性をとらえ、児童一人一人を大切にしている教師
- ③ 児童のよさを見つけ、感動の場を与えることのできる教師
- ④ 児童のために、教材研究や指導方法等について研鑽を積む教師

5 学校経営方針

(1) 児童一人一人に光をあてる学校経営とする

- ① 夢や希望を持たせる確かな学力の向上を図る
- ② 豊かな言葉、優しい心の育成による社会性の涵養を図る
- ③ 夢を育み、将来への希望を抱かせるキャリア教育の充実を図る(夢・職業)
- ④ 保護者と地域・社会の期待に応え、個々の児童に必要な、さらに伸ばす教育活動を行う
- ⑤ いじめを見逃さず、ゆるさない、人権尊重の心を育む

(2) 全児童の学力向上対策の推進

学習意欲を喚起し、基礎的・基本的なことばと知識、思考力を育てるために学習内容を活用させて評価する授業で宿題を与え、特に手紙を書く学習活動の充実を図る

(3) 教育課程特例校(市全校)として英語活動の充実を図る

(4) 特別支援教育の充実と支援体制の確立を図る

(5) 健康・安全・食の指導の充実を図る

- ① 感染症の予防と対応
- ② 避難訓練の充実と日常的な取り組み
- ③ 食育教育と早寝する生活リズムの確立

(6) 職員の服務規律の遵守と人権尊重の精神の涵養

- ① 人権意識の高揚
- ② 交通法規の遵守、不祥事0を維持するコンプライアンスの向上
- ③ 体罰を絶対にしない、怒声なく優しく語り合う、人権を最大に守る教育者
- ④ 信頼し合う人間関係で織りなされる職場
- ⑤ 児童、保護者の声に迅速、ていねいに耳を傾け、反応する

(7) 学習指導要領、県、市の指導の努力点を踏まえた本校教育計画の策定と実施

6 努力事項(目標行動)

(1) 学習指導の工夫・改善・充実で「わかる授業」の構築

- ① 指導体制の改善・充実を図る

- 日常的な研修、主体的な研修システムの構築 ○校内研究の充実
- 管理者、教科指導に優れた教師による授業改善の支援 ○外部の専門家等の活用
- ② 指導方法の改善・充実を図る
 - キャリア教育の視点で「学ぶ意義」を ○沖縄型授業づくりを指針として授業改善
 - 授業と連動した宿題の与え方 ○「言語活動の充実」を各教科で取り入れる
- ③ 指導と評価の一体化を図る
 - 観点別評価規準を明確に ○評価場面の設定 ○学習評価を保護者、児童に説明する
- ④ 学力向上推進施策「夢・にぬふぁ星プランⅢ」の推進を図る

(2) 道徳教育の充実

- ① 学校の教育活動全体を通じて道徳教育の実践を図る。
 - 全体計画、年間指導計画の作成と実践 ○発達段階に応じた重点化
 - 各教科等で特性に応じた内容を指導 ○Web版「心のノート」の活用
- ② 道徳の時間の指導の充実を図る
 - 34,35週分の指導略案作成 ○学年協働体制 ○道徳の内容項目を児童自らの課題に
 - Web版「読み物資料集」の活用「守礼」等の郷土資料活用
 - 家庭や地域の方々をゲストティーチャーに活用 ○授業力向上研究会
- ③ 家庭・地域社会との緊密な連携を図る
 - 家庭や地域の方々の体験活動への参加協力 ○授業公開 ○凡事徹底の推進

(3) たくましい心と体を育む健康教育の充実

- ① 地域社会と連携して健康教育・保健管理の充実を図る
 - 学校保健委員会の開催 ○喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育と性教育の実施
 - 健康教育、生活習慣の形成 ○養護教諭が学級の保健指導やコーディネーター活動
 - 「学校環境衛生規準」に基づく活動を組織的・計画的に取り組む
- ② 体育・スポーツ活動の指導の充実を図る
 - 学習指導要領改訂を共通理解 ○小中見通した指導と評価 ○伝統文化の取り入れ
 - 保健の思考力・判断力育成 ○体力・泳力の向上 ○運動部活動の適正化

(4) 小中一貫教育の推進

- ① 小中一貫教育についての共通理解を図る
 - 金城中学校との小中一貫の取組を推進する ○教科担任制の取組を推進する

(5) キャリア教育の充実

- ① キャリア教育の理解、校内体制の確立を図る
 - 「校内委員会」「キャリア教育全体構想図」「キャリア教育プログラム」の実施
 - キャリア教育校内研修の実施
 - 「基礎的・汎用的能力」(4つの能力)の視点で各教科年間指導計画を作成する
 - 地域教育資源を活用した授業づくり
- ② 進路指導の充実を図る
 - 児童が主体的に進路を選択できる進路指導の工夫 ○中学生活への進路学習会
 - 子どもの将来についての話題づくりを家庭に働きかける
- ③ 職場体験活動(職場見学)の取組の充実を図る
 - 日々の学習活動と社会を結ぶ職場見学 ○保護者の職場を見学する

- 児童が主体的に進路を選択できる進路指導の工夫 ○中学生活への進路学習会
- 子どもの将来についての話題づくりを家庭に働きかける

- ③ 職場体験活動(職場見学)の取組の充実を図る

- 日々の学習活動と社会を結ぶ職場見学 ○保護者の職場を見学する **(8) 食育の推進**

- ① 学校における食育推進体制の確立及び充実

- 各学年毎の食に関する指導の年間指導計画の作成 ○食に関する体験活動の充実

- 担任と栄養管理者のTT授業 ○食育推進の評価指標(朝食欠食率他)設定、改善

(6) 生徒指導の充実

- ① 児童個々への対応の充実を図る
 - 対話と活動による段階的指導・支援 ○児童間、児童対教師の共感的人間関係を築く
 - 自己指導能力の育成 ○将来の夢を持ち自立を目指して発達段階に応じた支援をする
- ② 学校全体としての取組の充実を図る
 - 全職員の共通理解と共通実践 ○自己存在感、共感的関係、自己決定の場を与える
 - 学級活動と連動した児童会活動の活性化 ○事件・事故・虐待の未然防止体制
 - 人権教育と連動する ○他と協調するソーシャルスキルの向上
- ③ 家庭・地域社会、関係機関・団体との連携の強化を図る
 - お互いの顔が見える情報、行動連携 ○自治会、子ども会、児童館との連携
 - 家庭教育支援会議の機能化し関係機関と連携する ○校種間連携の推進

(7) 国際理解教育・外国語教育の推進

- ① 教育活動全体を通じて国際理解教育の推進を図る
 - 各教科との関連を踏まえた全体計画の作成 ○相手を思いやる心を育成する取組
 - 地域の外国人の活用及び米人学校との交流、JICAの活用
- ② 外国語活動の充実を図る
 - 担任と英語教師のTT授業を行う ○音声を中心とした体験的な活動をする
 - ネイティブスピーカーと触れ合い言語・文化の理解を深める ○校内研修を行う

(8) 食育の推進

- ① 学校における食育推進体制の確立及び充実
 - 各学年毎の食に関する指導の年間指導計画の作成 ○食に関する体験活動の充実
 - 担任と栄養管理者のTT授業 ○食育推進の評価指標（朝食欠食率他）設定、改善

(9) 学校安全・防災教育の充実

- ① 学校安全の推進に関する計画の策定
 - 「危機管理マニュアル」「生きる力をはぐくむ学校での安全教育」（文科省）参考に
 - 学校独自の安全教育と安全管理 ○組織活動の充実 ○家庭、地域・関係機関と連携
- ② 防犯教育の充実を図る
 - 避難訓練と校内研修 ○防犯教室で危機回避能力の育成 ○地域巡回と不審者情報
 - 通学路の安全点検と地域安全マップの作成

(10) 特別活動の充実

- ① 指導計画の充実、指導体制の確立を図る
 - 児童像が明確な全体計画の作成 ○年間指導計画の充実 ○特別活動校内研修の実施
- ② 特別活動の内容の重点化と指導の充実を図る
 - 児童の実態に応じた指導内容の重点化 ○話し合い活動の充実
 - 係、当番、児童会活動を通して望ましい人間関係の構築
 - 幼児、高齢者、障がいのある人等の交流やボランティア等の豊かな体験活動
 - 行事内容の重点化と精選 ○教育相談 ○クラブ活動 ○平和教育の取組
- ③ 児童が自然や文化、地域の人々と交流できるよう家庭や地域との連携する
- ④ 国際社会で信頼される日本人として成長するよう国旗・国家の指導の充実を図る

(11) 生活科・総合的な学習の時間の充実

- ① 全体計画や年間指導計画の改善・充実を図る
 - 計画を見直して全体計画を作成する ○教科等と関連付けた指導計画を作成する
 - 体験活動、問題の解決や探究活動を位置づける ○内容の系列を明確にする
- ② 実施方法等の充実を図る

- 全職員の共通理解と専門性の発揮 ○実地体験的な校内研修
- 教師の指導性と児童の自発性・能動性のバランスを保つ
- 言語による分析、表現する学習活動 ○安全確保と保険加入
- ③ 評価の充実を図る
- ④ 保護者や地域社会の理解と協力を得る

(12) 特別支援教育の充実

- ① 特別支援教育を行うための体制の整備及び必要な取組
 - 全職員が協力し合い、組織的、計画的に推進する ○校内委員会の設置
 - コーディネーターを中心に支援体制を充実する ○校内研修で専門性の向上に努める
 - 保護者との相談 ○ヘルパーの円滑な活用 ○個別の指導計画、支援計画の作成
- ② 特別支援学級の教育課程の充実を図る
 - 児童の実態に即した教育課程の編成 ○特別支援学校小学校部指導要領も参考にする
- ③ 交流及び共同学習の充実を図る
 - 児童の実態を考慮して通常の学級の児童、地域の人々との交流、共同学習を推進する
- ④ 就学指導体制の充実を図る
 - 校内就学指導委員会の機能化に努める ○体験入学の実施体制づくりを図る
- ⑤ 通級による指導の充実を図る
 - 通常の学級担任と通級の指導担当者の情報交換による指導の充実を図る

(13) 人権教育の充実

- ① 人権教育の指導体制や校内研修の充実を図る
 - 全体教育の作成と校内指導体制の確立 ○人権委員会の機能化と校内研修を行う
 - 人権を考える日（月1回）の取組 ○いじめに関するアンケートと早期発見、解決
 - 保護者との信頼関係のもといじめの未然防止、早期発見、解決に努める
- ② 人権教育の指導の工夫・改善を図る
 - 自分の人権を守り、他者の人権を守る意識を育成する
 - 生命の尊重、法の下での平等、個人の尊重、男女平等及び相互の理解・協力の指導
- ③ 豊かな人間性を育む教育の充実を図る
 - 豊かな体験の機会 ○意見を発表する機会 ○虐待の早期発見

(14) 平和教育の充実

- ① 教育活動全体を通じて平和教育の充実を図る
 - 『平和教育の手引き』の共通理解を図る ○各教科等の年間指導計画に位置づける
 - 発達過程を配慮する ○全職員による協働体制で指導を充実する
- ② 指導内容や指導方法の工夫改善を図る
 - 世界平和と人類の幸福、生命の尊重と個人の尊厳を理解させ、思いやりの心を育てる
 - 発達段階に応じた教材開発、体験的な学習や地域の人材活用などの工夫
 - 『平和教育関連施設マップ』等を活用して体験的な学習を充実する
 - 他国の文化や生活様式、価値観を尊重する教材を取り上げ異なる文化を理解する

(15) 環境教育の充実

- ① 学校の教育活動全体を通じた環境教育の実施を図る
 - 「環境に親しむ」「しくみを学ぶ」「保全・創造する」3視点で全体計画を作成する
 - 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の目標と関連した年間指導計画を作成する
 - 児童会の活動計画に身近な問題に主体的に取り組める環境保全内容を位置づける
 - 日常的な取組と世界環境デー（6月5日）等を生かす
 - 「ちゅら島環境21」の宣言文を踏まえ地域の特色を生かした環境教育の充実を図る

- ② 環境に関する指導内容や指導方法を工夫する
 - 身近な素材や題材を扱う体験的、問題解決的な学習を重視する
 - 低・中学年は身近な環境の自然や文化に触れて美しさや大切さに気づかせる
 - 高学年においては具体的な環境問題を地球的規模で考え自らの問題ととらえさせる
- ③ 家庭・地域との連携を図る
 - 地域素材の教材化を図る ○自然探索やクリーン活動等、実生活の環境教育を行う
 - 地域の人材や地域の企業、リサイクル施設などの活用を図る

(16) 情報教育の充実

- ① 学校教育全体を通じた情報教育の取組の充実を図る
 - 情報化推進リーダーを中心に校務の情報化を一層推進する ○ IT 教育研修への参加
 - 情報モラル教育の系統的、継続的な推進
- ② 情報通信ネットワークや教育用コンテンツ活用の取組の充実を図る
 - 校内 LAN の活用 ○デジタル教材の活用 ○学校ホームページの更新
- ③ 指導内容や指導方法の取組の充実を図る
 - 発達に応じた行動目標を設定して情報活用能力を育成する ○ ICT 機器を活用する
- ④ 情報モラル指導や情報安全管理の取組の充実を図る
 - 個人情報の保護等について教職員自ら理解を深め、情報モラルに関する指導を行う
 - 不適切な情報に対処できる判断力や危険を回避する態度を育成する
 - フィルタリングの必要性和普及について家庭への啓発を行う
 - 個人情報保護方針による情報の安全管理規定を策定し、個人情報を適正に取り扱う

(17) 学校図書館活用の充実

- ① 読書指導計画を作成し、発達段階に応じた読書指導を行う
 - 読書の質を高める ○必読書の選定 ○学習に関連した読書 ○図書館の計画的活用

(18) 教育課程の効果的な推進

- ① 教育課程編成の原則を踏まえる
 - 各教科の年間授業時数の実質的な確保（標準時数以上）に努める
 - 基礎的・基本的な知識と技能とこれを活用する思考力、判断力、表現力を育む
 - 体験的な学習と個に応じた指導の充実 ○言語活動の充実と家庭学習習慣の確立
- ② 教育課程編成・実施に係る指導計画（学校経営計画・各教科等年間指導計画）の充実
 - 学校評価によって年度重点目標を設定し実現に努める
 - 各教科等年間指導計画は、学年ごとに目標、内容、順序、方法、教材、時間、評価等」を作成し、計画に沿った指導の展開を図る
 - 週案を活用して適切な授業等の運営、管理に努める
- ③ 教育課程の評価・改善の充実を図る
 - 教育課程の実施状況等の自己点検・自己評価を実施し常に改善と充実に努める
 - 経営計画書や各教科等年間指導計画の見直しを計画的に行い量、質の充実に努める
 - 学校法科に組織的に取り組み、説明責任を果たし、学校教育の質の向上に努める

(19) 学校評価の充実

- ① 学校評価の計画の充実を図る
 - 『学校評価ガイドライン』を活用して、学校評価システムを確立する
 - 教育活動や組織マネジメントの状況の評価して、気づきを喚起し改善を促す
 - 学校重点目標の達成状況を把握・整理し、学校運営を組織的・継続的に改善する
- ② 学校評価の実施の充実を図る
 - 全職員が組織的に自己評価に取り組む ○学校関係者評価委員会を組織し実施する

- 自己評価及び学校関係者評価の結果を説明、公表し保護者、地域住民の理解と参画を得て、信頼される開かれた学校づくりに努める
- 保護者や地域の人々に授業等を公開する機会（授業参観日等）を計画的に実施する
- 教育活動その他の学校運営の状況について、学校公開週間の位置づけや学校ホームページ等により、保護者や地域の人々へ積極的に情報を提供する
- ③ 学校評価を生かした学校づくりを推進する
 - 保護者や地域住民等が学校運営に参画する学校運営に努める
 - 学校評価を次年度の重点目標等の設定に反映する

(20) 家庭・地域と連携した教育の推進

- ① 全校体制で家庭学習の習慣化と質の向上に向けた取組を推進する
- ② 望ましい基本的な生活習慣の確立（早寝・睡眠・朝ごはん）に向けた取組を推進する

7 本年度の重点事項

(1) 夢や希望を持つ学力向上の推進（キャリア教育の視点を踏まえた確かな学力の向上）

- ① 基礎学力の確実な向上（ノートに書く力をつける、伝える相手のあるメモ日記等の手紙文を書く、授業の定着を図る宿題を出す、読書の啓発、個に応じた指導）
- ② 学習環境づくり（主体的な学習の準備、学び合う雰囲気と形態、豊かな言語環境）

(2) 心の教育の充実（いじめをゆるさず友をはげます）

- ① 手紙文を書く等で、自分と友だちを大切に作る心、人権を守る豊かな言葉を育てる
- ② 基本的な生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ごはん）のため学校と家庭が連携して取り組む

(3) 健康教育と安心・安全への対応

- ① 不審者対策と交通安全指導の徹底（危険予知能力・危機回避能力の育成等）
- ② うがいや手洗い等の指導を徹底、症状があれば早めに受診して感染症予防に努める

(4) 特別支援教育の充実

- ① 子どもと保護者相談の充実と、協力学級担任及び全職員による支援の充実